

豪雨で被害を受けた栃木県日光市に出発する合同支援チームのメンバー（総社市で）



豪雨被害の日光 救助支援へ4人

総社市とAMDA

東日本を襲った記録的な豪雨で、栃木県日光市から支援要請を受けた総社市と国際医療NGO「AMDA（アムダ）」（本部・岡山

市）は12日、合同支援チーム（4人）を現地に派遣した。14日まで救援活動を支援するとともに、食料や医薬品などの需要を調べ、医

療チーム派遣に向けた準備を行う。

チームは、東日本大震災や広島市の土砂災害など活動経験のある総社市職員3人とAMDAの栄養士1人。市役所玄関前で出発があり、AMDAグループの菅波茂代表らが激励。表して藤原直樹・市危機管理室長補佐が「現地の対策本部と連携し、最大の支援をしたい」と決意表明した。

派遣は、市の大規模被災地支援に関する冬（2013年施行）に甘んじて実施。市とAMDAはこれまで国内外の被災地で、共同して支援活動にたっている。